

Title: 「思い出だけ捨てればいいじゃない。」



大谷 可奈子
154センチ、45キ
ロ、A型、おうし
座。
好きなのは、アジ
ア・インド・家族・
ネコ・カレー・すし
です。

● 最近のエントリー

- 📅 [インドからのプレゼント](#)
(2007.01.24)
- 📅 [私の年を追い抜いた四女と五女](#)
(2007.01.24)
- 📅 [先生からのプレゼント](#)
(2007.01.21)
- 📅 [猫の顔を見ながら考えたこと](#)
(2007.01.09)

● アーカイブ

- 📅 [2011年12月](#)
- 📅 [2011年02月](#)
- 📅 [2010年02月](#)
- 📅 [2010年01月](#)
- 📅 [2009年09月](#)
- 📅 [2009年07月](#)
- 📅 [2009年05月](#)
- 📅 [2009年04月](#)
- 📅 [2008年11月](#)
- 📅 [2008年10月](#)
- 📅 [2008年09月](#)
- 📅 [2008年05月](#)
- 📅 [2008年01月](#)
- 📅 [2007年12月](#)
- 📅 [2007年11月](#)
- 📅 [2007年10月](#)
- 📅 [2007年09月](#)
- 📅 [2007年08月](#)
- 📅 [2007年07月](#)
- 📅 [2007年06月](#)
- 📅 [2007年04月](#)
- 📅 [2007年03月](#)
- 📅 [2007年01月](#)
- 📅 [2006年12月](#)
- 📅 [2006年11月](#)
- 📅 [2006年10月](#)
- 📅 [2006年09月](#)
- 📅 [2006年08月](#)
- 📅 [2006年07月](#)
- 📅 [2006年06月](#)
- 📅 [2006年05月](#)
- 📅 [2006年04月](#)
- 📅 [2006年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

[思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2007年01月 アーカイブ](#)

07.01.24

インドからのプレゼント

[Tweet](#)

👍 いいね! 0

🔍 チェック

インドの友達、ラナからメールが来た。
たくさんの写真が添付されていた。

カメラはどうしたんだろう
パソコンなんて普段使わないから色々難しかっただろうな
時間かかっただろうな
でも今のプリを私に見せようと
がんばってくれたんだろうな。



プリントして、明日香さんにも見せようっと！

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2007.01.24 | [パーマリンク](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2007年01月 アーカイブ](#)

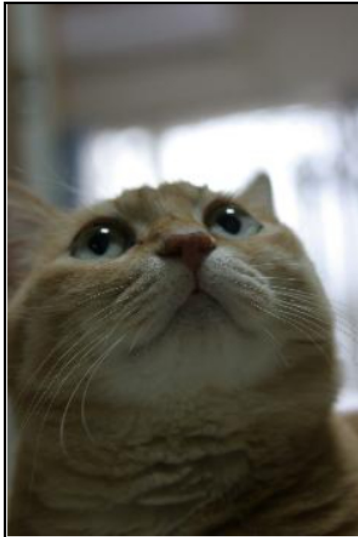
私の年を追い抜いた四女と五女

[Tweet](#)

👍 いいね! 0

🔍 チェック





こんなかわいいものを作るなんて、
神様はかなりセンスがいい。

カテゴリ：

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2007.01.24 | [パーマリンク](#) | [トロックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2007年01月 アーカイブ](#)

07.01.21

先生からのプレゼント

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

先日、半年間海外フィールドワークの引率をしてくださった五十嵐先生から、私達に素敵なプレゼントが。

先生がアジアや、アジアでの私達を撮りためた写真を収めた、なんとも素敵なDVD!!
とっても凝った作りになっていて、ほんとにすごいのだ!!
(もう3回見た!!)

興奮しながら、少ししんみりした。

きれいな音楽とともに、
思い出が頭の中を駆けめぐる。

貴重な経験をした、とか
多くのことを学んだ、とか
大変だった、とか
苦労した、とか
帰国してから色々言った気がするけど、
先生が作ってくださったDVDを見てはっきり思った。

何よりも、とにかく
「楽しかった」

夢のようだった。

みんなの顔も何だか違う。
ありがたげな言葉だけど、
いきいきしている。
無邪気な表情をしている。
卒業を目前に、
私は思い出にしがみつき気味だ。(う〜ん、ちょっと心配)
プログラタイトルとは裏腹に、
私は思い出だけはどうしても捨てられないタチなのだ。

時間が経つのは寂しい。
熱が冷めていってしまう感覚はもっと寂しい。

またアジアへ行かなくちゃ。
アジア熱で常に身体を火照らせておかなくちゃ。
五十嵐先生、本当にありがとうございました。
宝物です。
子供にも孫にもひ孫にも自慢します。

カテゴリ：

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2007.01.21 | [パーマリンク](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2007年01月 アーカイブ](#)

07.01.09

猫の顔を見ながら考えたこと

[Tweet](#)

 いいね! 0

 チェック

冬休みは、かなりよく食べ、よく寝た。
12月中おかしかった頭が、
むくむくと健康を取り戻した。
やはり食事と睡眠は基本であると思い知った今日このごろ。

そして、卒業作品展に向けて、
写真の編集をしている。

写真の編集は難しい。
世の中の物事は全てそうだろうけれど、
正しいことが無いというのは、
私にとっては大きな迷いの種となり、
非常に苦しいことだ。
だから芸術家というのは本当にすごいと思う。
否定されても意思を曲げない、
強い精神力を持っていなければ、
到底できないことだ。
土田ヒロミさんも言っていた。
「作品を作るというのは、孤独との闘いだ」
と。

私は、芸術家というのはただの変人だと思っていた。
そして好きな人種ではなかった。
むしろ変な人は嫌いだった。
私は協調性を愛して生きてきたので、
列を乱す人が嫌いだった。
主張の強すぎる人もお断りだった。

和やかに、
丸く収まればいいじゃないか。
他人の顔色を窺って、
輪を乱さないように、明るく楽しく、
無難にやればいいじゃないか。

そんな私は、写真を始めて、
フィールドワークに行って、
自分の無力さを思い知らされた。
いや、違う、
思い知らされている。

ざっと私の、自分と違うタイプの人を疎ましく思っていたのは、
自分にないものを持っていて、
自分にできない事ができて、
羨ましかったんだろう。
それを認めたくなくて、
「嫌い」と言っていたんだろう。

何が正しいかわからない中で、
自分の意思を貫くことの難しさを実感している今、
他人に流されず、
自分を見失うことのない人に、
私は憧れ、魅せられ、嫉妬し、そして尊敬する。

私も頑張らなければいけない。

カテゴリ:


post by 大谷 可奈子 | 日時: 2007.01.09 | [パーマリンク](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2007年01月 アーカイブ

07.01.08

2007年は小吉

[Tweet](#)

 いいね! 0

 チェック

新年明けましておめでとうございます。
2006年はとても色々なことがあった一年でした。
これからもアジアとは仲良くしていくつもりですが、
経済的にもスケジュール的にも、
半年間も旅を続ける機会は、
そうあるものではないでしょう。

貴重で大切な経験をしました。
これをきっかけに、
広く世界を見て、
勉強していかななくてはならないと思います。

もう帰国して4ヶ月近くが経ちます。
帰国してから、
アジアをテーマにしたドキュメンタリー番組を、
何度か見る機会がありました。
インドの子供、
ミャンマーの子供、
チベットに開通した鉄道など、
今までだったら「どこか遠い国の自分とは関係のないこと」だったであろう事柄が、
自分でも意外なほど身近に感じられることに、
不思議にも嬉しいと感じたりします。
私もアジアの一員なんだなと改めて思います。

ありがとう2006年。
初めての体験にワクワクして感じた『幸せ』、
身近なものの有り難さに改めて気づいて感じた『幸せ』、
22年間生きてきた中で、
一番たくさん『幸せ』を実感した一年でした。

そして2007年。

本日遅ればせながら、
初詣に行っまいりました。

おみくじを引くと「小吉」
ロクなことが書かれていませんでしたが、
さっさと忘れて出直そうと思います。
そうそう、今日は成人の日だったようで、
車に乗っていると、
たくさんの新成人を見かけました。

一時期ほど派手な若者は減っているのだな、
と感じました。
皆、少し恥じらいのある表情をしていて、
とても初々しいと思いました。
ニュースによると、
今年の成人式はどれも穏やかだったようです。

私は、近頃凜然とではあるけど、
若者がしっかりしてきたように思います。
きちんとした考えを持っていて感心する人が何人もいます。
「近頃の若者はどうしようもない」と言われる時代が、
もうそろそろ終わるといいと思います。
帰り道、
インド料理屋に行きました。
やっぱり私はカレーは素晴らしいと思いました。
なぜならば、
からい→水をたくさん飲む→汗をかく→体にいい(ついでに肌にもいい)

インドカレーを食べましょう。
本年もどうぞよろしくお祈りします。



カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2007.01.08 | [バーマリンク](#) | [トラックバック\(0\)](#)